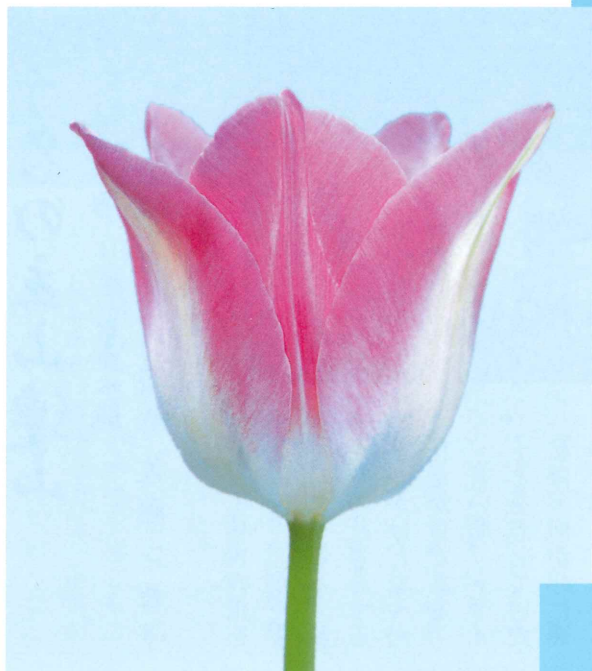


チューリップ。 四季だより



「王冠」「天女の舞」「黄の司」(上から)
(すべてトライアンフ群)

昭和27年チューリップとして日本で初めて品種登録された3品種。砺波のチューリップ産みの親、水野豊造氏が育成。

街路樹という名の立山連山

第一園芸株式会社 フローリスト事業本部

営業部 グリーンインテリア室室長

佐藤 智子



▲H.9 春 特別企画展

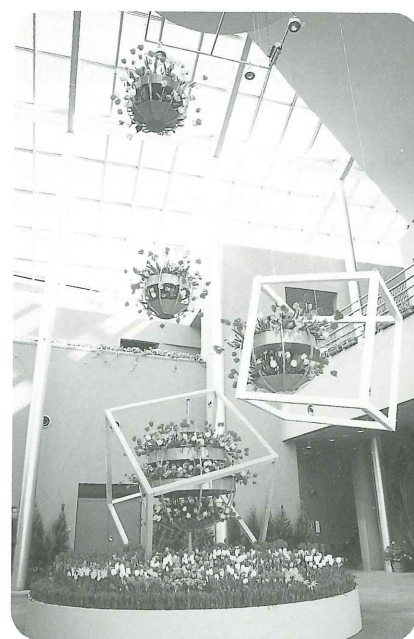
アイリスの花を見る度、心がくすぐったくなる。私が花の仕事をするきっかけとなった花だからである。

若い頃、デザイナーを志していた私は、何か心に迷いを感じ、思いきって仕事を辞めようと、その時とっさに出た言葉が、「私、花の仕事をしたいんです。」脈略もなくそんなことを言ってしまった。今でも何でそんなことを口に出したのかわからない。

とりあえず、何か行動にと、千葉の白浜という花を作っているところを訪ね歩いた。とある一つの温室の中に入ってしまった

ら薄いブルーのアイリスの花が温室中に広がっている。何とも言えない胸の高鳴りを感じ、又、思わず、「ここで働かせて下さい」。

結果は、アイリスの花をたくさん新聞紙に包んでおみやげに渡された。あの時の感動、胸の高鳴り、こんな小さな花が人の心を動かす。この時、まさに、花の仕事をしたいと、小さい頃、絵を書く花は、なぜかチューリップだったような気がする。それも、赤、黄色かな。最近私が見かけるチューリップは、アプリコット系、ベージュ系、ブラック系、フリンジ咲きと、すごくおしゃれなチューリップ。花東、アレンジ、イベントに数多く使われ、ゴージャス、エレガント、ファッショナブルと、小さい頃のチューリップのかわいらしい花のイメージ



▲H.9 春 常設展

から変わりつつある。

ところが、砺波に来て私は、久しぶりに子供の頃のチューリップに出会えた。畑一面に、公園一面に、そこ、ここに、赤、白、黄、いろんなチューリップが、たくさん、可憐に、太陽の光をいっぱい浴びて風にそよんでいる姿は、これぞ本来のチューリップの在り方、姿である。チューリップはかわいら

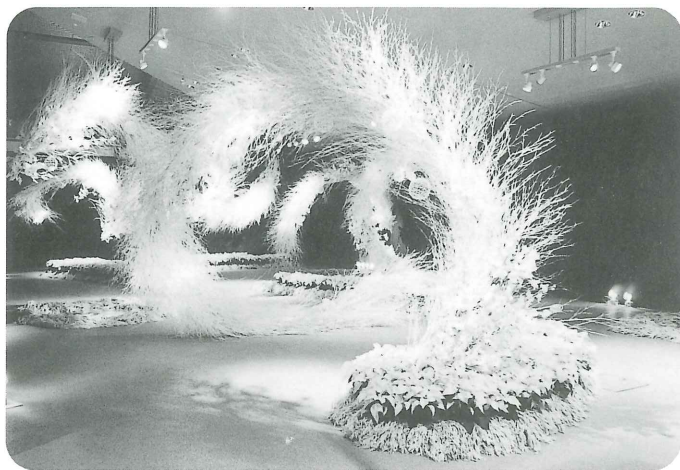


▲H.10 春 特別企画展



▲H.10 春 常設展

しくなくては。
花や植物と、日々、毎日生活していると、たまに嫌になってケンカしたくなる時がある。
何もしくなくても、存在感がある、人に感動を与える、心を癒す、なぐさめにもなる、元気づけにもなる。
庭の仕事をしていると、建築設計の人に、植木はいいいねえ、どんなに苦労して設計し、建てた家でも、最後は庭の出来方ひとつで家も決まってしまう。
今度のイベントは、こういうテーマでこんな企画をつくり、こんなものを...だんだん出来上がっていくが



▲H.10 秋 特別企画展

何か足りない。最後に花がくる。もうそれだけで決まってしまう。何なんだろう、この力は。
花、植物と、自然を相手に仕事を続けていくにはいつもこんな気持ちにさせられてしまう。
街路樹。砺波の町を散歩して、道、歩道のゆたたりさを何気なく楽しんでいた時、街路樹が少なくないことに気が付いた。
東京で生活していると、街路樹があることで季節を感じることもある。特に今頃は、落葉が風に舞い、道端のいろいろなところで落葉がうずくまっていた



▲H.10 冬 常設展

り、青い空に、秋風が黄色のイチヨウの葉をゆさぶっていたり。私の住んでいるところも大きい樹木が無造作、無神経に切り倒され、マンシヨン等の味わいのない四角い建物ばかりになっている。
ケヤキ、イチヨウ、プラタナス、ハナミズキ。東京の街路樹には、落葉樹が多い。少しだけでも季節を感じさせてくれるのだろう。
砺波の街路樹は、立



山連山である。
なんとぜいたくな。
いつでも歩いてみたい町である。

略歴

さとう ともこ

一九五二年東京生まれ。東京在住。

十代〜二十代

デザイン学校デザイン関係会社

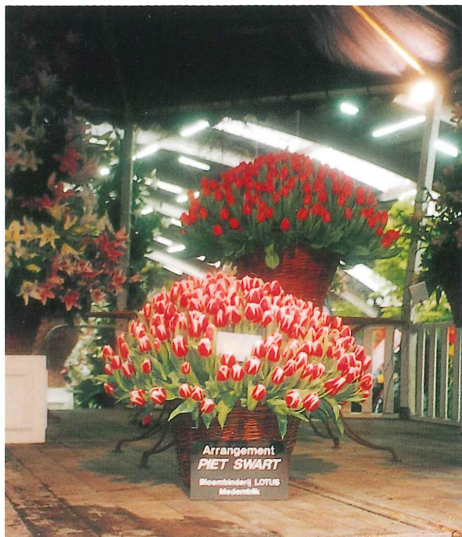
二十代〜現在

第一園芸株式会社在職

イベント装飾、ガーデニング（一般住宅、マンション等）、室内グリーンプランナー、その他、花・植物に関わる全般。

テクノフォルティ専門学校講師。

*写真はいずれもチュウリップ四季彩館において佐藤氏の手掛けた展示です。



世界の フラワーショー

近年開催予定の世界のフラワーショーを
いくつかご紹介します。

◇第六十六回西フリースランド 花の博覧会（オランダ）

開催時期／一九九九年二月十八日から
二月二十七日

開催場所／オランダ ボーベンカルベ
ス市（スキポール空港から
六十キロメートル）

テーマ／「ロシア」

長い歴史を持つ世界最大の屋内球根
フラワーショーで十日間にわたり新品
種や新企画の展示が行われます。同時
に花関係の見本市も五日間開催されま
す。一般の人のほか生産者、種苗会社、
花の流通関係者、ガーデニング関係者
など世界各国から毎年見学者が多数訪
れています。



◇キューケンホフ・ フラワーショー（オランダ）

開催時期／春の庭園展示 一九九九年
三月二十五日から五月十九日

夏の庭園展示 一九九九年
八月十九日から九月十九日

開催場所／オランダ

キューケンホフ公園

キューケンホフのフラワーショーは
一九九九年が五十回の年に当たること
から、様々な記念イベントが計画され
ています。今年から庭園が拡張され、
新庭園で夏球根やバラを主体にした夏
の庭園展示が行われます。

二〇〇〇年の春展示は拡張された庭
園も含めた規模で開催される予定です。



◇国際園芸博覧会（中国）

開催時期／一九九九年五月から十月

開催場所／中国雲南省昆明市

一九九〇年には花の万博として大阪
で開催された国際園芸博覧会が今年
は雲南省昆明市で開催されます。日本
からも政府館と日本庭園が展示される
予定となっていますが、政府館には既に
二十数都道府県や民間団体の参加申込
みがあるとのことです。雲南省では、
国際的な花き園芸の流れに対する関心
がますます高まっています。



67th
WESTFRIESE FLORA

The world's largest covered

Bulb flower show

18-27 February 2000 - Bovenkarspel - The Netherlands
Theme: Japan

◇第67回西フリースランド花の博覧会

開催時期／2000年2月18日～2月27日

開催場所／オランダ ボーベンカルペス市

テーマ／「日本」

世界最大の屋内球根

フラワースhow

WESTFRIESE FLORA (西フリースランドの花の博覧会) は、一九四九年からオランダのボーベンカルペス市で毎年開催されています。真冬の二月に行われるこの博覧会は、毎年、国内外から約八万人の入場者があります。

会場は、面積六千平方メートルの世界最大の球根類の屋内庭園で、チューリップ、ユリ、スイセン、ヒヤシンス、アイリス、クロッカス、フリチラリアなど十数万本に及ぶオランダ産の球根花を中心に、色とりどりの花々が咲き誇ります。

また、球根類全般を対象とした専門見本市である、CNBフローラ・アグリ見本市が二十一日から二十五日まで五日間開催されます。この見本市では、栽培家、輸出業者、バイヤーは



日蘭修交四百年記念

テーマ「日本」

“西フリースランドの花の博覧会”の二〇〇〇年のテーマは、「日本」。

じめ、その他、球根花分野の専門業者間の情報交換の場となります。また、多数の関連機械製品の供給業者も参加し、経済的、技術的開発の確認のために外国からも専門分野の従事者が多数来場します。アグリ見本市は、主に環境技術を重点に扱い、各種セミナーも開催されます。

その他、約百五十のスタンドが並ぶ展示即売会では、球根、生花、園芸用品から温室に至るまで販売され、さらにオランダのお菓子や衣類、書籍、屋根窓等、多彩な商品が提供されます。

オランダ船「デ・リーフデ号」が白杵湾に漂着したの

は、一六〇〇年四月十九日のことです。この記念すべき両国との出会いから丁度四百年を迎えることとなり、博覧会の期間中は色とりどりの球根の花々に囲まれて日蘭の出会いが再現されます。日の昇る国、日本の過去と現在が、日本の文化と伝統に基づいた日本特有の雰囲気を感じることが出来ます。日本の造園技術や生け花芸術を基調とした、東洋のオアシスをお楽しみいただけることでしょう。

特設の日本館では、日本に関する情報の公開や日本製品のサービス、伝統の催し物等が開催される予定です。

日本は、花の生産量が多いにもかかわらず、オランダの輸出相手国第三位を占めます。このことから日本人が花愛好家であることは明らかです。一九八〇年代後半以降、オランダ産球根の輸出量はめざましく増加し、現在は、毎年五億五千万球のオランダ産球根が日本の庭やプランター、花壇等を彩っています。

◇国際園芸・造園博

ジャパンフローラ2000(日本)

開催時期／二〇〇〇年三月十八日から

九月十七日

開催場所／兵庫県淡路島

国際園芸家協会(AIPH)が承認するA二、B一クラスの国際園芸造園博が淡路島の会場で開催されます。阪神淡路大地震で開催が延期されていたものです。



◇フロリアード2002(オランダ)

開催時期／二〇〇二年(月日は未定)

開催場所／オランダ

ハーレムメルミール市

フロリアードは花の国オランダで十年に一度開催される国際園芸博覧会です。一九九二年四月から十月にオランダのハーグ・ズータメーア市で開催され、日本からも政府出展が行われたことはまだ記憶に新しいことです。その十年後二〇〇二年にスキポール空港の近くのハーレムメルミール市でフロリアード二〇〇二が開催されることとなりました。詳細はまだ未定ですが前回同様世界各国からの参加があることでしょう。

球根植物の いろいろ

チューリップは、一般に球根を土に植えて花を咲かせます。大きくて重く、傷のない球根を選べば、それほど苦労することなく次の年の春に花を咲かせることができます。

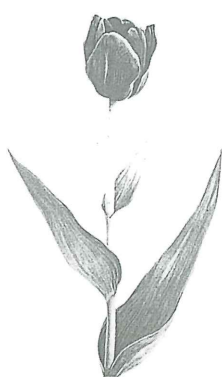
それでは、その球根とは一体どのような物なのでしょうか。

『球根とは?』

球根とは、一般に、葉、茎、根など植物の器官の一部が肥大し、その組織内に多量の養分を貯え、繁殖および次の年の生育に備えて球状または塊状となったものです。葉、茎、根のどの部分が肥大して主な貯蔵器官の役割を果たしているかによって、さらには肥大部分の形態状の特徴に従って、普通、鱗茎^{りんけい}、球茎、塊茎、塊根の五つに分類されています。

五種類の球根植物

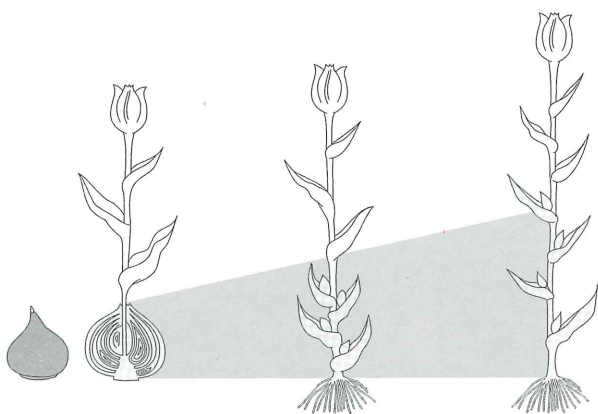
① 鱗茎 (bulb)



チューリップ

葉やその基部が肥厚して多肉となったりん葉が板状に短縮した茎の周りに着生したもので、茎の下部には新根が発生する底盤部がある。

チューリップ、スイセン、ヒアシンス、ユリ、アマリリスなど。

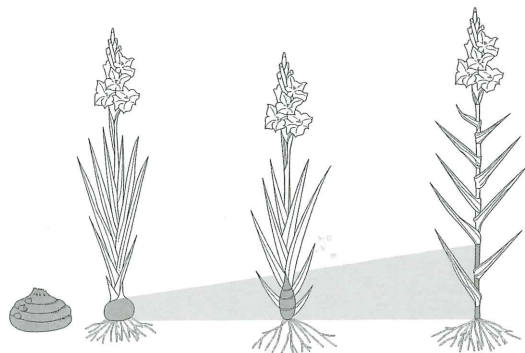


② 球茎 (corm)



グラジオラス

茎が肥厚して偏球状または球状になったもので、頂端および各節に芽があり、葉の基部が薄い膜となって球を包んでいる。グラジオラス、クロッカス、フリージア、コルチカムなど。



▲チューリップ四季彩館前 チューリップ品種見本園

③塊茎 (tuber)



アネモネ

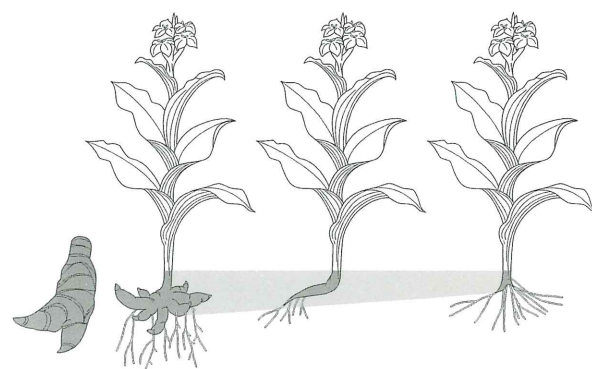
茎または地下茎が球状または塊状に肥大したもので、葉の変形物で覆われないのが特色である。芽は頂部付近にだけあって、胚軸に当たる部分が肥大を年々続ける非更新型のグループと球根の各部に側芽が認められ、分球していくタイプとがある。前者の例／シクラメン、グロキシニアなど。後者の例／カラジウム、アネモネ、カリーなど。

④根茎 (rhizome)

地下茎が球状にならず全体的に肥大したもので、多くの場合、地中または地表面をはうのが特色である。ジャーマン・アイリス、カンナ、ジンジャーなど肥厚した比較的多肉のもの、スズラン、フクジュソウのような地下茎はあまり肥大せず、細長いものがある。

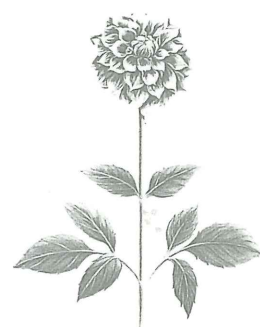


カンナ



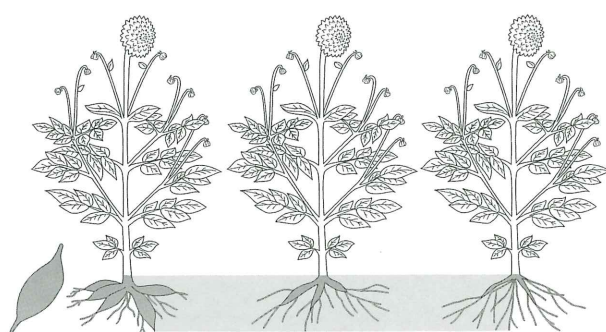
▲砺波チューリップ公園(夏)のカンナ

⑤塊根 (tuberous root)



ダリア

根自体が紡錘状、棒状に肥大したものである。したがって、球根に芽がなく、茎の最下部の芽を付けて植え込まないと発芽しない。ダリア、ランキンユラスなど。

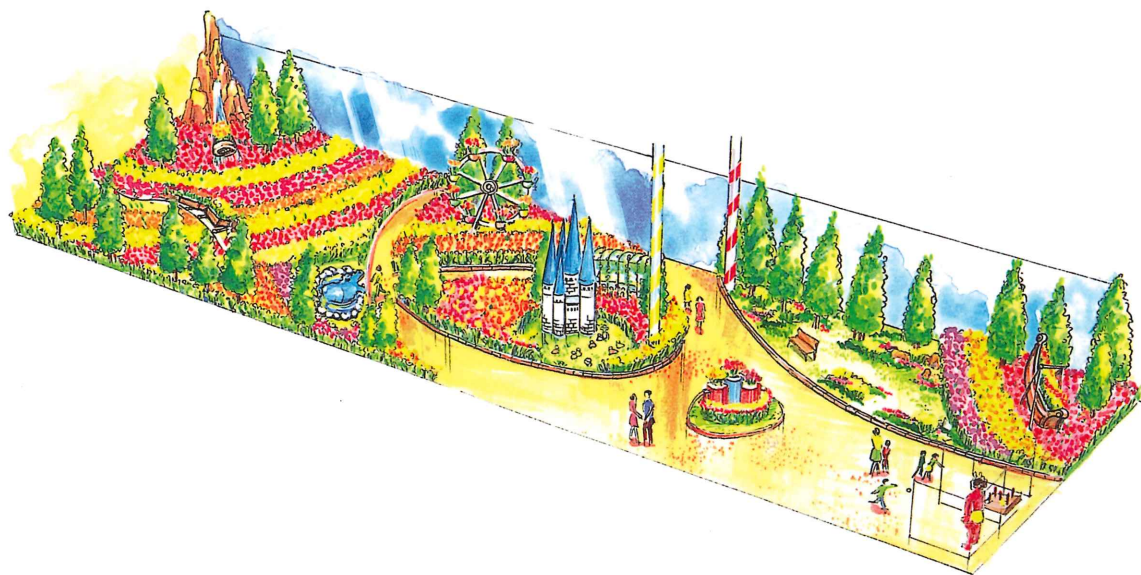


チューリップ四季彩館
からのお知らせ

第13回 春を呼ぶチューリップ展

期 間／平成11年2月19日(金)から28日(日)まで

場 所／チューリップ四季彩館ホール



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP
GALLERY

発行日 平成十一年一月一日

(財)砺波市花と緑の財団

〒九三九一―三三八一

富山県砺波市中村一〇〇一

☎〇七六三一―三三―七七一六

FAX 〇七六三一―三三―〇〇九〇